

詩吟クラブ 代表：松村

令和6年予定

2月10日(土) 11:00～ 大阪梅田阪神百貨店9階大食堂、新年会

◆歴史散歩・漢詩の故郷を訪ねて1

3月23日(土) 10:30 JR東海道線・島本駅前集合

「桜井の別れ」後醍醐天皇は、一度は官軍に敗れて九州に落ち延びた足利尊氏が勢力を盛り返して北上して来る敵軍に対して、征伐に向かわせた新田義貞の旗色が悪くなったので、京にいる楠木正成(まさしげ)に「急ぎ兵庫へ罷り下り、義貞に力を合わすべし」と仰せ下されしかば、正成はこれを最後と思い定めて嫡子の正行(まさつら)・11歳を泣く泣く河内に帰した。島本駅前に国史跡「桜井駅跡」がある。正成・正行父子の大理石像があり、台座には近衛文麿元首相の筆跡で「滅私奉公」の文字が刻まれている。

国民唱歌・落合直文作詞「楠公の歌」青葉茂れる桜井の 里のわたりの夕まぐれ 木の下陰に駒とめて 世の行く末をつくづくと 忍ぶ鎧の袖の上に 散るは涙かはた露か・・・15番まで戦前の教科書に載っていた。

◆歴史散歩・漢詩の故郷を訪ねて2

4月20日(土) 10:30 会下(えげ)山公園 神戸市営地下鉄上沢(かみさわ)駅集合

楠木正成が嫡子・正行と別れて会下山一帯の丘陵地に着陣した正成軍は700余騎、官軍の総大将新田義貞軍は和田岬を中心に5万余騎で足利軍の50万騎と対峙した。結果として合戦の主導権は終始足利軍に握られていた。激戦地は神戸市長田区の西台(にしだい)蓮池公園

(史跡 蓮の池址)とされている。

◆歴史散歩・漢詩の故郷を訪ねて3

日時とアクセス方法検討中。

岡山県津山市・作楽(さくら)神社 中国自動車道・院庄IC近く、兵庫県津山市。

鎌倉幕府の倒幕に失敗し、隠岐の島に流されることになった後醍醐天皇を護送の途中で奪還を図った備前の武士、児島高德(こじまたかのり)は、播磨と備前の国境、船坂山に陣を敷いて待ち構えていたが、護送の一行が山陰道を取った為、慌てて後を追った。美作(みまさか)の院庄(いんのしょう)で追いつき、行在所(あんざいしょ)の館の庭に忍び込み、桜の幹に刻んだ詩文が有名である。

春秋時代、呉に捕らわれた越王句踐(こうせん)を救出した忠臣、痘鑑(はんれい)に自らをなぞらえている。“天は句踐を空しうするなかれ、時に苑鑑無きにしも非らず”

児島高德詩を桜樹に題する図 齋藤監物(けんもつ) 詩文は後日配布。